

農林水産業経営基盤強化緊急支援事業費 (畜産経営基盤強化事業)

所要額 340,000千円
(うち畜産55,000千円)
〔財源：全額国庫(重点)〕

1 現状と課題

- ・長引く物価高騰や気候変動により、農作物生産等に多大な影響を与え、経営状況が悪化している。
- ・とりわけ、今夏は、府内で記録的な高温と猛暑日数の増加を記録するなど、気候に左右されずに農作物の収量を維持する必要。

高温乾燥により減収（京 夏ずきん反収：R6 323kg/10a → R7 255kg/10a (22%減)）
飼料品質の低下による腸炎に伴う肉質の低下（肉質等級 A4→A3⇒約 16 万円/頭の損失）
夏枯れの長期化による府内漁獲量の減少（R7.7～9 月は平年比 41～64%）
ノメイガ類によるタケノコの減収（出荷量が 4 割減少（R6:123 t → R7:73t））



経営基盤強化に資する取組を、引き続きソフトとハードの両面から支援することで、農林水産業者の経営強化を図る

2 事業概要

	ソフト対策	ハード対策
所要額	40,000 千円	300,000 千円
事業内容	<p>①高温対策実証ほ設置事業 高温対策に資する新技術等を引き続き実証</p> <p>②気候変動対策実践モデル事業 新規 実証成果が出た技術や新技術に取り組むモデル産地に対し、実践に係る経費や機械・施設の導入等に係る経費を支援</p> <p>③病虫害リスク低減事業 新規 病虫害（ノメイガ類等）の対策技術導入の現場実証に必要な経費を支援</p>	<p>④生産・生育段階における機器等 拡充 <u>林業分野はレンタルでも可</u> 例) 細霧冷房、チラー、 スプリンクラー、<u>グラップル</u> 等</p> <p>⑤加工・流通段階における機器等 例) 乾燥機、保冷設備、 色彩選別機 等</p>
実施主体	<p>①農業改良普及センター、農技センター</p> <p>②農業者又は農業者で組織する団体</p> <p>③府、市町村、農業者等で組織する団体</p>	農林水産業者又は農林水産業者で組織する団体
補助率	②定額(機器導入等は1/2)、③定額	1/2
補助上限	②2,500 千円(機器導入等)、③2,500 千円	④1,000 千円、⑤2,500 千円

3 見込まれる効果

経営を維持できる収量や品質の維持が可能となるとともに、農林水産業の経営基盤が安定